

聖路加国際病院感染症科

森 信好

この度、公益財団法人エイズ予防財団のご厚意により IAS2022（7月29日から8月2日）に参加させていただきましたのでご報告させていただきます。

興味深い研究内容が目白押しでしたが、以下について発表をご報告致します。

1. **Update on neural tube defects with antiretroviral exposure in the Tsepamo Study, Botswana (Zash R, et al.)**

Tsepamo 試験の追加結果です。2018年5月に初めて妊娠中の dolutegravir (DTG) が neural tube defects (NTDs) に関連する可能性が示唆されました (DTV vs other ART 0.94 % vs 0.12 %) 。その後 2021年3月のデータでは DTG vs other ART 0.15 % vs 0.10 % と有意差がないことが示され、今回はその追加結果になります。2014 – 2022年3月31日までの出産 223,797 症例を解析したもので、DTG 投与群 9,460 例中 10 例で NTD が発症 (0.11%) 、non-DTG 群 23,664 例中 25 例で NTD が発症 (0.11%) しており、やはり有意差は見られませんでした。WHO の推奨通り妊婦に対しても DTG は安全に使用できることが再確認されました。

2. **Switching From Integrase Inhibitor to PI Trims Weight in HIV Patient Database (Donga P, et al.)**

現在は integrase inhibitor (INSTI) が key drug として幅広く使用されていますが、体重増加との関連性が指摘されています。

今回の研究は INSTI から protease inhibitor (PI) に変更した場合の体重変化を評価した初めての研究です。INSTI で治療開始した 17,312 名のうち、334 名 (1.9%) が PI に変更、727 名 (4.2%) がその他の INSTI に変更されました。有意差はないものの、12ヶ月で 5%以上の体重増加があったものは INSTI 群で多い結果になりました。今後 n を増やしさらなる解析が期待されます。

3. **Doxycycline post-exposure for STI prevention among MSM and transgender women on HIV PrEP or living with HIV: high efficacy to reduce incident STI's in a randomized trial. (Luetkemeyer A, et al.)**

DOXYPEP からの結果です。以前フランスからの ANRS IPERGAY trial では MSM や transgender women においてコンドーム着用せずに性交渉をした後に doxycycline を服用 (PEP) することで gonorrhea 以外の bacterial STI の発症を減少させることが報告されていきました。今回の DOXYPEP は米国における open-label, non-blinded RCT であり、HIV 陽性あるいは PrEP 服用中の MSM や TGW を対象として doxycycline の PEP を評

価した研究です。コンドームなしの性交渉後 72 時間以内に doxycycline を服用した群と服用しなかった群で、bacterial STIs (gonorrhea, syphilis, chlamydia)の少なくとも一つの発症を primary endpoint としています。Syphilis および chlamydia の発症が有意に減少したことは IPERGAY trial と同様でしたが、興味深いことに gonorrhea の発症も減少させることが判明しました。

20.2% with no PEP vs 9.1% with PEP in the PrEP group; 20.3% with no PEP vs 9.1% with doxy PEP in the HIV group

今回の IAS 参加により、HIV の日常診療や今後の臨床研究に活かすことのできる情報を多く得ることができました。

公益財団法人エイズ予防財団に改めて厚くお礼申し上げます。